

桜島降灰観測情報 第6号

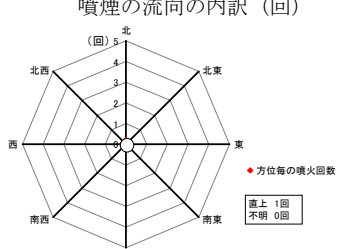
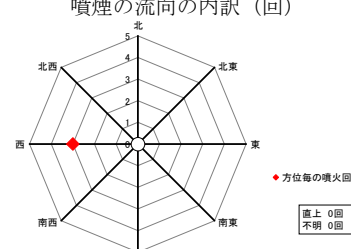
平成22年6月7日(月)18時

独立行政法人土木研究所

火山・土石流チーム

2010年6月7日現在における土木研究所が桜島に設置した自動降灰量計の観測データを報告します。最近の降灰深観測データを表1、最近15週間の降灰深観測データを図2に示します。

表1 最近の自動降灰量計観測データ

前回報告期間 2010年5月24日～5月30日	今回報告期間 2010年5月31日～6月6日
降灰深 0 mm (検知基準以下) 0kg/m ² (±0.5kg/m ²)	降灰深 0 mm (検知基準以下) 0kg/m ² (±0.5kg/m ²)
噴火回数 1回	噴火回数 3回
噴煙の流向の内訳(回)  ● 方位毎の噴火回数 直上 1回 不明 0回	噴煙の流向の内訳(回)  ● 方位毎の噴火回数 直上 0回 不明 0回

※ 降灰深(mm)は単位面積当たり降灰重量(kg/m²)より次式にて換算した。

$$d=W/\rho_d \text{ (mm)}$$

d:降灰深(mm)、W:単位面積当たり降灰重量(kg/m²)、 ρ_d :火山灰の乾燥密度(g/cm³) ここでは $\rho_d=1.5$ として計算した。

※ 「噴煙の流向」は気象庁ホームページよりデータを収集しグラフ化したものである。なお、噴煙の流向が直上または不明のものはグラフ表示の対象外とした。

※ 第4号より観測値の集計方法を変更したため、過去の情報における観測データと一部差異が生じている。



図1 自動降灰量計設置位置図

(北緯31°33'57.28″、東経130°40'49.24″)



写真1 自動降灰量計の外観

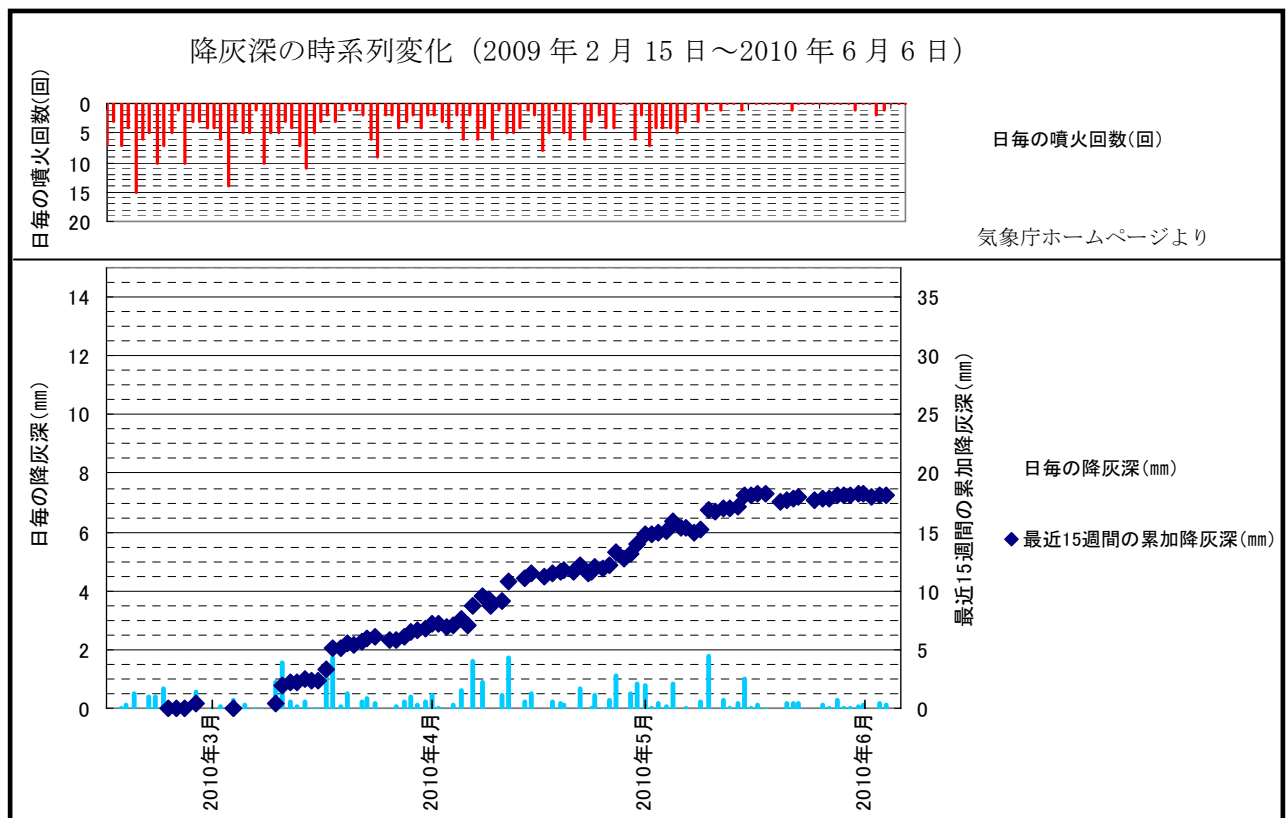


図2 最近15週間の累加降灰深の推移

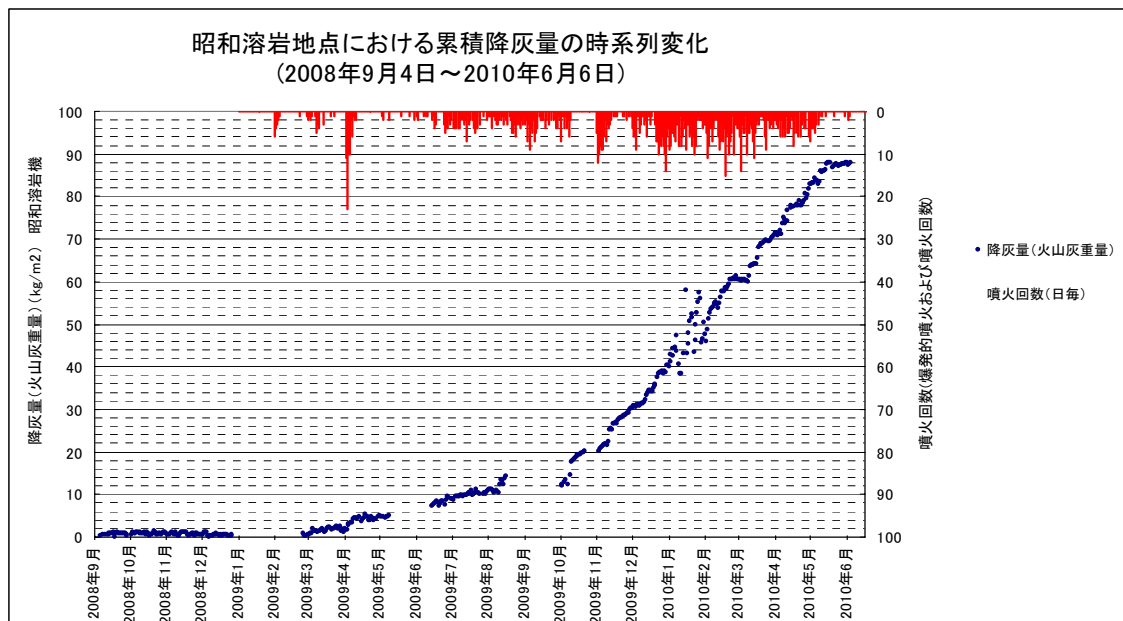


図3 自動降灰量計による降灰量の推移 (2008 年 9 月～2010 年 6 月)

降灰量が増加すると土石流が頻発する傾向があります。土石流の発生と降灰の関係については国土交通省砂防部ホームページをご参照下さい。

<http://www.mlit.go.jp/river/sabo/sakura.html>

平成 21 年の桜島土石流と火山活動について

※次回の降灰状況に関する情報は、6 月 14 日(月)18 時頃の予定です。